

奇園 叢見子

へ 遠 3
469
5

へ 13
469
5



門 13
 號 469
 卷 8

花園 奇譚 夢見 艸卷之五

福東子玉雄戲編

長嶋町五丁目
 大野三郎八

第十回

目録
 一、花の夢見
 二、夢見の艸
 三、夢見の草
 四、夢見の草
 五、夢見の草
 六、夢見の草
 七、夢見の草
 八、夢見の草
 九、夢見の草
 十、夢見の草

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of names. The text is written on the left page of an open manuscript. It consists of several lines of text, with some words appearing to be repeated or written in a specific pattern. The script is dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of names. The text is written on the right page of an open manuscript. It consists of several lines of text, with some words appearing to be repeated or written in a specific pattern. The script is dense and difficult to decipher without a key.

とよめ
藤の若と中らうがうか——
うけあうらう——
の雲のト——
そのおえたるの——
出るころは東——
がえりかぬの——
連へ——
若の艇ハ——
三

とよめ
藤の若と中らうがうか——
うけあうらう——
の雲のト——
そのおえたるの——
出るころは東——
がえりかぬの——
連へ——
若の艇ハ——
三

ついでにやまの二にわたる乳の二にわたる二のわたる乳のわたる

可なりしうきわんがゆふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

達しやうふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI

たふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

のたふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふも東の名物の園十の園十の園十の園十の園十の園十の園十の園十

男死のまやの義助の又上方の園十の園十の園十の園十の園十

おつうきんの中うきんうきんうきんうきんうきんうきんうきんうきん

へくSUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI

しんSUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI

女のよもへんりやせん郎中へて入浴術ありては

わんがむしやうのびんびんびんびんびんびんびんびんびんびん

の持中しやうのびんびんびんびんびんびんびんびんびんびん

と接中しやうのびんびんびんびんびんびんびんびんびんびん

SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI SUSAI

ゆへにちかばあるし^ちてしつ^り一^にかろく^し今^うろ^この^さか^にゆ^き
きん^し一^とり^のふ^たを^かん^じせ^うち^によ^まる^にび^んご^ん
あ^つ大^けの^さを^とり^し商人^のこ^ろか^がい^はれ^にく^り
あ^のこ^の子^母も^いつ^たあ^らい^に由^りて^いふ^もの^つ
一^が父^の弟^があ^つて^その^まへ^にあ^つて^いふ^もの^つ
子^とか^らか^ら金^所へ^かか^りし^父の^まあ^らひ^のこ^ろに^いふ^こ
あ^の事^を一^つと^りて^おも^ひに^して^いふ^もの^つ
ゆ^へに^ちか^ばある^しが^おも^ひに^して^いふ^もの^つ
今^うろ^この^さか^にゆ^き
一^は

人^をか^らか^ら大^に商人^とあ^つて^いふ^もの^つ
う^ちに^いふ^この^つい^はれ^にく^り
あ^つて^いふ^もの^つ
あ^の事^を一^つと^りて^おも^ひに^して^いふ^もの^つ
ゆ^へに^ちか^ばある^しが^おも^ひに^して^いふ^もの^つ
今^うろ^この^さか^にゆ^き
一^は

2300-2400 ¹² ¹³ ¹⁴ ¹⁵ ¹⁶ ¹⁷ ¹⁸ ¹⁹ ²⁰ ²¹ ²² ²³ ²⁴ ²⁵ ²⁶ ²⁷ ²⁸ ²⁹ ³⁰ ³¹ ³² ³³ ³⁴ ³⁵ ³⁶ ³⁷ ³⁸ ³⁹ ⁴⁰ ⁴¹ ⁴² ⁴³ ⁴⁴ ⁴⁵ ⁴⁶ ⁴⁷ ⁴⁸ ⁴⁹ ⁵⁰ ⁵¹ ⁵² ⁵³ ⁵⁴ ⁵⁵ ⁵⁶ ⁵⁷ ⁵⁸ ⁵⁹ ⁶⁰ ⁶¹ ⁶² ⁶³ ⁶⁴ ⁶⁵ ⁶⁶ ⁶⁷ ⁶⁸ ⁶⁹ ⁷⁰ ⁷¹ ⁷² ⁷³ ⁷⁴ ⁷⁵ ⁷⁶ ⁷⁷ ⁷⁸ ⁷⁹ ⁸⁰ ⁸¹ ⁸² ⁸³ ⁸⁴ ⁸⁵ ⁸⁶ ⁸⁷ ⁸⁸ ⁸⁹ ⁹⁰ ⁹¹ ⁹² ⁹³ ⁹⁴ ⁹⁵ ⁹⁶ ⁹⁷ ⁹⁸ ⁹⁹ ¹⁰⁰

Handwritten text in a cursive script, likely a medieval manuscript. The text is arranged in approximately 12 lines across the page. The script is dense and characteristic of the late Gothic or early modern period.

11

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is arranged in approximately 12 lines across the page. The script is dense and characteristic of the late Gothic or early modern period.

よきいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
美しきいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
さうさういづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
美しきいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
くさく代あんとて大勢はるる海軍と母親と
くくいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
このいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
大津(きつ)のいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ

浪(なみ)のいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
萬(まん)のいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
ぞいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
はまのいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
子(こ)のいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
あつたのいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
背(せ)のいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ
あつたのいづれもいふる事あり及ぶ一対もあはれ

信しん心しんの思し心しんと又また思し心しんとあふこすべし三人の
 子こ儀ぎ一いつ久くしし心しんの思し心しんとあふこすべし三人の
 大だい海かいの思し心しんとあふこすべし三人の
 一いつ西せい家け日に光くわうの思し心しんとあふこすべし三人の
 出で夜やの思し心しんとあふこすべし三人の
 び一いつ南なん何なにの思し心しんとあふこすべし三人の
 かくとあふこすべし三人の
 東とうあふこすべし三人の
 舟ふねの思し心しんとあふこすべし三人の
 舟ふねの思し心しんとあふこすべし三人の

再十四

鳴な呼めはるるるるるる
 鳴な呼めはるるるるるる
 鳴な呼めはるるるるるる



花園 夢見草卷之五終
 奇譚

